

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公開番号】特開2008-279534(P2008-279534A)

【公開日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2007-124996(P2007-124996)

【国際特許分類】

B 24 B 27/06 (2006.01)

B 24 B 27/00 (2006.01)

B 28 D 1/08 (2006.01)

【F I】

B 24 B 27/06 D

B 24 B 27/00 L

B 28 D 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月24日(2009.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(1) 壁担体上に設けられた漆喰層を有する壁画を挟んで対向配置される一対の平行なレールと、(2) 前記両レール上のほぼ対向位置に設けられ、前記レールに沿って移動自在な一対のスライダと、(3) 前記スライダの各々に支持され、多数のダイヤモンドビーズを鋼製ワイヤに固定したダイヤモンドワイヤの繰り出し及び巻き取りを行って前記ダイヤモンドワイヤを走行させる一対のリールと、(4) 前記リールを駆動させる手段と、(5) 前記レールの壁接触面を通る面とほぼ平行に前記ダイヤモンドワイヤが走行するよう前記スライダに設けられたガイドロールとを有し、前記壁担体と前記漆喰層の界面において前記ダイヤモンドワイヤを走行させながら、前記一対のスライダを前記レールに沿って移動させて、前記ダイヤモンドワイヤをその走行方向に対してほぼ直角方向に通過させることを特徴とする壁画漆喰層剥離用ワイヤソー装置。

【請求項2】

壁画の壁担体上に設けられた漆喰層を前記壁担体から剥離させる方法であって、前記壁担体と前記漆喰層の界面において、多数のダイヤモンドビーズが鋼製ワイヤに固定されたダイヤモンドワイヤを走行させながら、その走行方向に対してほぼ直角方向に通過させることを特徴とする壁画漆喰層剥離方法。

【請求項3】

請求項2に記載の壁画漆喰層剥離方法において、駆動手段を具備する一対のリールを、前記壁画を挟んで対向配置し、前記リール間で前記ダイヤモンドワイヤを走行させながら、その走行方向に対してほぼ直角方向に前記リールを移動させることを特徴とする方法。

【請求項4】

請求項3に記載の壁画漆喰層剥離方法において、前記壁画を挟んで一対の平行なレールを対向配置し、前記両レールのほぼ対向位置に前記レールに沿って移動自在な一対のスライダを設け、前記一対のリールを前記スライダの各々に支持させ、前記一対のスライダを前記レールに沿って移動させることにより、前記ダイヤモンドワイヤをその走行方向に対し

てほぼ直角方向に移動させることを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項4に記載の壁画漆喰層剥離方法において、前記ダイヤモンドワイヤをガイドするロールを前記スライダに設け、前記一対のレールの壁接触面を通る面とほぼ平行に前記ダイヤモンドワイヤを走行させることを特徴とする方法。